

●本リリース(全2枚)は、大分県政記者クラブ・別府市政記者クラブ加盟各社・福岡経済記者クラブ加盟社に送信しています。

取材案内



立命館アジア太平洋大学

2015年5月1日

APU リリース 2015-07

立命館アジア太平洋大学 ムスリム研究センター (Research Center for Muslim Affairs) (RCMA)の設置について

立命館アジア太平洋大学(以下APU)では、地域におけるムスリム文化との互恵的な共生のあり方、ムスリムビジネスによる「地方創生」に資するモデル構築を目指し、立命館アジア太平洋大学ムスリム研究センターの設置を決定いたしましたので、お知らせします。

APU 所管の研究センターである立命館アジア太平洋研究センター(以下、RCAPS)の附属の研究センターとして、ムスリム研究センターを設置することを決定いたしました。

大分県・別府市・立命館の三者の公私協力により開学した本学は、教育・研究活動を通じて、地域の発展、国際化、地域における多文化共生について貢献することをミッションの1つとしています。APU のもつ多様性の強みや経験を反映した研究分野として、本研究センターを立ち上げ、ムスリムビジネスの現状や展望、日本のビジネス社会との連携のあり方など、研究を進めます。

この研究所は、日系企業のムスリムビジネス支援に積極的に取り組んでいる株式会社インスパイアより、ムスリムビジネスやムスリム文化を広く研究し、その研究成果の活用が「地方創生」に繋がるよう、資金面での支援を受けています。

詳細が決定後、改めて取り組み概要等、随時、お知らせいたします。

記

1. 設置研究センター名 :立命館アジア太平洋大学 ムスリム研究センター

(Research Center for Muslim Affairs:RCMA)

センター長:山本 晋(国際経営学部教授)

副センター長:笹川秀夫(アジア太平洋学部教授)

副センター長:DAHLAN Nariman(教育開発・学習支援センター 准教授)

2. RCMA がカバーする研究領域

- ① 経営学・ファイナンス領域 ②観光学領域 ③文化・思想・社会学領域 ④国際関係・政治学領域 等

3. 研究コンソーシアムの発足

ムスリム向けビジネスを展開する様々な業種の企業・団体、および自治体等と協働し、産学官連携による研究・執筆・講演活動を行います。

4. キックオフシンポジウムの予定

2015年6月17日(水)に、初回シンポジウムの開催を計画しております。詳細は、追ってお知らせいたします。

●本リリース(全2枚)は、大分県政記者クラブ・別府市政記者クラブ加盟各社・福岡経済記者クラブ加盟社に送信しています。

*2014年11月現在、APUの2,659名の留学生のうち482名が、イスラム協力機構加盟国から来ています。九州初のモスクは本学が位置する別府市に建てられ、本学学生や卒業生が中心となる「別府ムスリムフレンドリークラブ」を中心に広く市民との交流の場となっています。同クラブは3月末に別府市の外国人留学生地域活性助成金や大分県の補助金を活用し、イスラム教徒が利用できる温泉や飲食店を紹介する「ムスリムフレンドリーマップ」を作成し、今後の観光客や留学生の活用が期待されています。また、県内の食品加工会社でつくる「おおいた食品産業企業会」では、県産食材のハラール認証を目指した情報共有、商品開発、販路開拓などに組織的に取り組まれています。

(イスラム協力機構加盟国:インドネシア、マレーシア等イスラム諸国をメンバーとする国際機関。57カ国が加盟)

● 内容についてのお問い合わせ先

立命館アジア太平洋大学(担当:宮原、宮腰) TEL:0977-78-1114 FAX:0977-78-1108